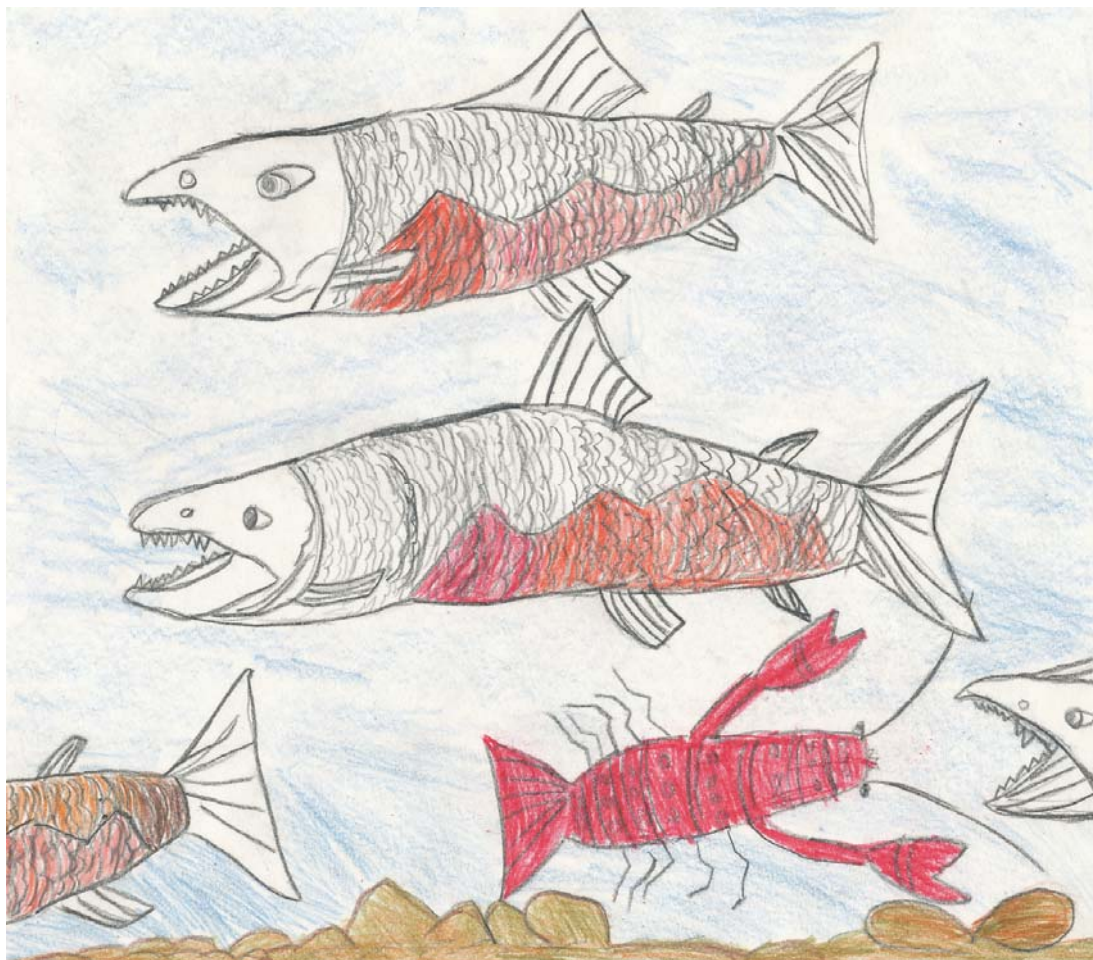


SALMON 情報

第2号

2008年1月

- 自然再生産を利用したサケ資源保全への取り組み
- サケ親魚の質が受精卵の発育過程に与える影響
- サケ親魚に対する炭酸ガスの麻酔効果—ドライアイスとボンベを用いて—
- 本州日本海地域のサクラマス資源再生に向けた取り組み
- サケ輸出促進のための品質評価システムの開発と放流技術の高度化
- 北光丸夏季さけます資源生態調査乗船記
- 北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖
ほか



(図版提供：藤巻航汰 くん，札幌市豊平川さけ科学館収蔵)

編集 さけますセンター



独立行政法人
水産総合研究センター

目次

自然再生産を利用したサケ資源保全への取り組み	3
サケ親魚の質が受精卵の発育過程に与える影響	6
サケ親魚に対する炭酸ガスの麻酔効果—ドライアイスとポンベを用いて—	8
本州日本海地域のサクラマス資源再生に向けた取り組み	11
本州日本海地域サクラマス資源管理技術の開発（プロ研への参加）	12
サケ輸出促進のための品質評価システムの開発と放流技術の高度化	15
本州太平洋域のふ化場の現状と改善に向けて	17
北光丸夏季さけます資源生態調査乗船記	19
さけます関係研究開発等推進特別部会	22
2007年北太平洋溯河性魚類委員会の調査計画調整会議と年次会議および科学調査統計小委員会の概要	24
北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖	26
さけます展示施設のページ 札幌市豊平川さけ科学館	28



mini column

表紙の絵は、平成 19 年 5 月 5 日に札幌市豊平川さけ科学館で体験放流と一緒に実施した「サケの絵を描こう」作品展に応募された、北海道札幌市立白楊小学校 2 年の藤巻航汰くんが描いたものです。体には産卵間近を思わせる婚姻色もあり、遠く北太平洋までの大回遊を終えて豊平川まで無事帰ってきた様子が力強く描かれています。

これからも、豊平川をはじめ日本各地の川にサケが帰ってくることを願いつつ、サケがいつまでも帰ってこられる環境を、みんなで守り続けたいと考えています。

